

2018年 神経科学レポート

本レポートは、第41回日本神経科学大会の研究発表内容を参考にし、neumoが独自に作成したものです



けいはんなリサーチコンプレックス / 株式会社 neumo 共同企画第 2 弾 脳情報科学関連の調査レポート

けいはんな RC では株式会社 neumo と共同で BRAIN TECH の世界動向を調査したレポートを発行しています。世界動向をいち早く皆さまにお届けするとともに、neumo 社ではレポートに基づいたミーティングや、レポート以上に踏み込んだ詳説、レポートとディスカッションを通じ、事業アイデア・応用アイデアなどについてもアドバイス致します。第 2 弾となる今回は、2018 年の最新の学会発表や学术论文・研究会の動向を元に、独自の視点で情報を切り出し徹底的に調査した、BRAIN TECH の最先端を網羅できるレポートです。

レポートの詳細は、URL または QR コードからご覧ください。

<http://keihanna-rc.jp/business/business-support/strat-brain-tech/>



本レポートの内容

1. 最先端の神経科学者らに議論されている テーマを概観

- ヒトの知能の計算論的・神経科学的理解
- 機械学習と比較して高い学習効率を誇る
ヒトの神経構造
- 具体的なヒトの脳情報処理モデル

2. 最新研究の紹介

- 最新の脳イメージング技術の概観
- 神経メカニズム理解に基づく、
脳刺激と操作技術

3. 脳神経科学研究の次の10～20年を俯瞰